

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【福島県】

学校名【福島市立ふくしま支援学校】

1 実践テーマ	I・V
2 実施対象者 (学年・人数)	<p>小学部：5年（8名）、6年（5名） 計 13名</p> <p>中学部：1年（4名）、2年（4名）、3年（3名） 計 11名</p> <p>高等部：1年（12名）、2年（17名）、3年（14名） 計 43名</p> <p style="text-align: right;">合計 67名</p>
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 ( 体育科 保健体育科 )</p> <p>② 行事名 ( )</p> <p>③ その他 ( )</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ( )</p> <p>② その他 ( )</p>
4 目標 (ねらい)	<p>○ オリンピック・パラリンピックが開催される意義や背景を学び、国際理解やスポーツを楽しむ心を育む。</p> <p>○ 各種大会への参加を通して、スポーツに対する興味関心を向上させ、スポーツに親しむ習慣を育む。</p>
5 取組内容	<p>【事前学習】</p> <p>○ 「I'm POSSIBLE」を活用してオリンピック・パラリンピックの意義や背景を調べたり、学んだりする活動を行った。</p> <p>○ 体育科、保健体育科での、ボッチャやフライングディスク競技の実践を通して、パラスポーツを経験し楽しさを味わった。</p> <p>【各種大会への参加】</p> <p>○ 特別支援学級・学校合同卓球・ボッチャ大会（中学部）、特別支援学校スポーツ大会（高等部）に参加し、他校の生徒と競い合いながら、障がい者スポーツやパラリンピック競技種目に精一杯取り組むことができた。</p>



<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ オリンピック・パラリンピックのテレビ放映を視聴した児童生徒も多く、これまで取り組んできたボッチャなどの競技の面白さや奥深さを感じながら、学習に取り組むことができた。</li> <li>○ 大会への参加を通して、通常の授業とは異なる緊張感やチームの連帯感を味わうことができ、来年はさらに競技レベルを高めたいなどの意欲的な感想も聞くことができた。</li> </ul>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ボッチャやフライングディスクなど、パラスポーツに普段から親しんでいたが、オリンピック・パラリンピックの開催を通して、競技をより身近なものとして感じられるようにした。</li> </ul>
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の面から、外部講師等の活用を行うことができなかった。</li> </ul>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大会への参加を継続し、児童生徒が障がい者スポーツやパラリンピック競技に親しむ機会を設ける。</li> </ul>